

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年1月29日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良県総務部 ICT推進課		代表者名	鎌仲 益巳	
担当者部署	共通基盤運用係		連絡先電話番号	0742-27-8443	
担当者役職	主査	担当者氏名	西川 健太郎	連絡先E-mail	
住所	630-8501 奈良県奈良市登大路町30番地				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森 康通
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	奈良県職員向けにデータのオープンデータ化の推進の必要性や、より社会で利活用しやすいデータにするにはどのようにすべきかについて、国が目指すデジタル社会実現の意義、進むべき方向性、民間でのデータの活用方法、データがデジタル社会でもたらす影響等を踏まえて豊富な具体例を基にわかりやすく説明いただいたことで、多くの職員がデータの持つ意味、それを公開することの意義の理解を深めたため。また、コロナ感染予防の観点から、グループワークに代えて行った個人ワークを通して、参加者がデータを公開した場合の他者の反応を身近に感じることができ、参加者の積極的なオープンデータ化への意欲を感じる内容の濃い研修となった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年1月22日	12時30分	17時00分		270
3-2. 派遣場所	会場名	奈良県文化会館		最寄駅	近鉄奈良駅
	所在地	奈良市登大路町6-2		最寄駅からの交通手段	徒歩
	派遣形態	フォローアップ(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	奈良県職員・警察官	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・データ公開の必要性の認識は広まっているが、実際の公開に消極的な部署が多い。 ・既にデータを公開済みの部署であっても、更新やデータ内容の項目やCSV化等充実を図る必要がある。 ・上記の問題に対応するため、管理職にもオープンデータの重要性について認識してもらう必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・研修の主な対象を管理職とすることにより、所属自ら積極的にデータ公開に取り組むようオープンデータの意義、必要性、手順等について理解してもらう。 ・公開済みのデータの更新・ブラッシュアップについて、その必要性、利便性を理解してもらい、データの更新、CSV化等より利便性の高いデータの公開に取り組んでもらう。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・オープンデータとしてデータを公開することの意義を理解し意欲を醸成するため、デジタル社会におけるデータの意義、データが持つ力を多様な具体的事例を通して解説いただいた。 ・デジタル社会の自治体の役割解説いただき、職員に求められるデータの知識・扱い方を学んだ。 ・参加者が扱っているデータが実は他者は欲しているということを理解してもらうためのデータマッチングパーティーや利活用されやすいデータを考えるために実際のデータをオープンデータとして公開するための作業を個人ワークとして実施した。	

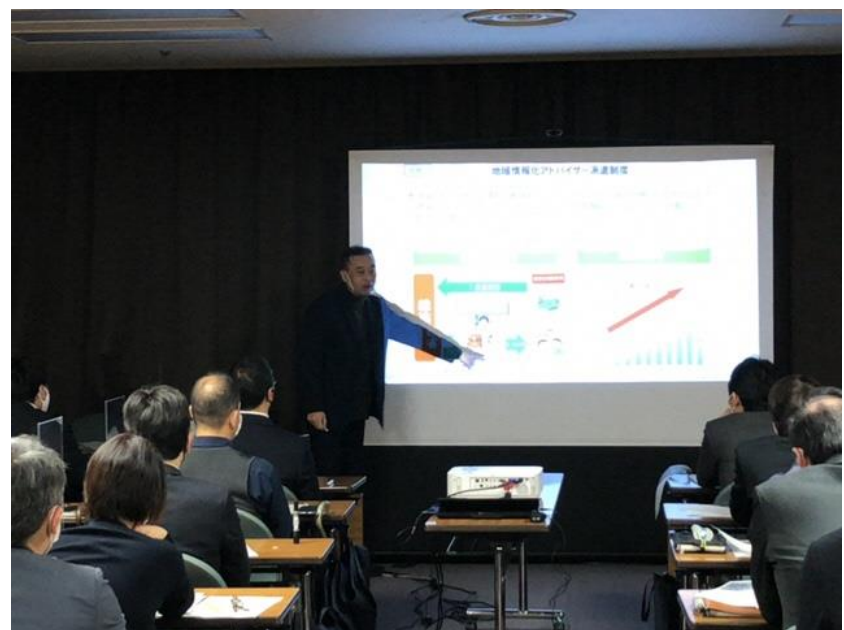
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 参加者は、デジタル社会でのデータの利活用のあり方に触れ、データの持つ力、公開の意義を前向きに捉えることができ、データ公開の意欲を感じた。この意欲を無駄にしないよう、ICT推進課の支援方法も研修の場で伝えることができ、データ公開に関する負担感を和らげることができた。 社会で利活用されているデータを説明いただき、参加者にはオープンデータとして公開するために必要なデータの形式等を実感してもらい、その作成方法のおおまかに理解につながった。 データマッチングパーティーにより、参加者が扱っているデータを他者は欲している、ということを実感してもらうことで、データ公開の必要性の理解につながった。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	持ち越しは特にないが、研修後すぐに結果ができるものではない。このため、引き続きICT推進課として、今回の研修を踏まえ、利活用しやすいデータ作成の支援をより一層行い、各所属が保有するデータのオープンデータ化及びPDF形式で公開されたデータのCSV化等に取り組んでいく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加者全員が研修内容を理解できたという結果であり、データ公開の意義や有効性について概ね理解し、オープンデータ化に取り組む姿勢が感じられるものであった。 ※アンケート結果は別添ファイルのとおり	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	数値的目標：奈良県庁における公開データ数150セット(2023年度) 各所属が自主的にCSV形式等利活用しやすい形式で保有データを原則としてオープンデータとして公開していくこと	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



【開会挨拶】



【講義中の森講師】



【データマッチングパーティーで他参加者のカードを見て回る参



【データマッチングパーティーの報告のようす】